

NEWS LETTER 遊文通信

2017年8月発行

74



東京営業所移転と メンバー強化の ご報告



この度、約3年間お世話になった本郷3丁目の事務所にお別れをして、水道橋に事務所を移転しました。2駅しか離れていませんが街並みは大きく異なります。本郷のアカデミックで落ち着いた雰囲気に慣れてきたところでしたが、水道橋は東京ドームが近くにあることで商業施設や飲食店も多く、野球観戦やコンサートを終えた人達のテンションの高さに毎日圧倒されています。



遊文舎の窓から見えるドーム



阪神席から応援（佐地撮影）

東京営業所の体制もこれまでとはかなり変わり、従来の営業グループ、営業推進グループに加え、デザインや組版などを行う制作グループを立ち上げました。印刷・製本・加工などの後工程での差別化が難しくなっている昨今、弊社では企画段階から携わることで、お客様と一緒に課題を考え、完成度の高い製品を作って

いけるような印刷会社を目指しています。実際、そのようなご相談をいただける機会も増えており、弊社では左記のようなメリットがあると考えています（実際にお客様で2、3日かけて作成されていた大量の表やグラフを弊社に委託いただいた際は、マクロやスクリプトを駆使して3時間で完成させました）。広義でのお客様の「コストダウン」に寄与貢献できれば幸いです。

今後はお打ち合わせの際にデザイナーを同行させることも可能になりますので、必要な場合は営業担当にお気軽にご相談ください。また、新事務所では専用の打ち合わせスペースを設けておりますので、お急ぎの場合などは是非ご活用ください。新事務所はJR水道橋駅徒歩30秒です。出張校正はもちろん、息抜きも兼ねて社外でお仕事をされたい時などどうぞお気軽にご活用ください。

東京営業所の強化は、規模の拡大にとどまらず、商品サービスの質の向上に結び付かないと意味がありません。スキル面での啓発活動はもちろん、日々増加し多様化してゆくお客様のニーズにベストなお応えができるよう、スタッフ一同これまで以上に精進してまいります。今後ともよろしく願い申し上げます。

（東京営業所 所長 佐地 寛）

メリット

-  デザイナー同席のもとコンセプトを共有することで、お客様のイメージを汲み取りやすくなる。
 初校後のデザイン変更が起りにくく、不要な時間を短縮できる。
-  コスト面を考慮して印刷物の適切な仕様（サイズ・ページ数等）の提案ができる。
 ご予算に応じた用紙やページ構成のご提案をさせていただくことで、費用対効果の高い成果物をご提供できる。
-  原稿作成の効率化・分担化（作業時間の短縮）
 お客様の方でご用意いただく原稿作成や校正の一部を弊社に委託いただくことで、お客様の作業負担を削減し、高品質で無駄のないスケジュールを進めることが可能です。

東京営業所 制作グループ 石田 直子

- ▶ 出身地：大阪府高槻市
- ▶ ひと言：この7月に大阪本社から東京営業所に転勤となりました。

大阪ではお会いした方、お会いできなかった方々、たくさんのお取引先の方々に並々ならぬご厚情をいただきました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

人生80年の半分を過ぎ、人生最大級の青天の霹靂が、この東京への転勤です。まさか、自分が東京で生活するなどは夢にも思わず、迷いに迷いましたが、今は毎日楽しく、やりがいを持って過ごしています。

所長をはじめ、営業所の全員が意識の共有を図り、事業拡大をめざして、日々奮闘しながら頑張っています。

東京営業所最年長として、試行錯誤しながら、時には意見の相違もありますが、自分の持てる限りの力を発揮していきたいと思っております。

今後とも何卒よろしく願い申し上げます。



新メンバーの
ご紹介

【大阪本社】〒532-0012 大阪市淀川区木川東4丁目17-31
TEL: 06-6304-9325(代) FAX: 06-6304-4995

【東京営業所】〒101-0061 東京都千代田区三崎町2丁目20-7 水道橋西口会館 8F
TEL: 03-5357-1420 FAX: 03-5357-1421

<http://www.yubun.co.jp/>
E-mail info@yubun.co.jp

スタッフ趣味の プリン探訪

～制作課 砂原加奈編



趣味と言うほどではありませんが、私は自分好みの究極のプリンを日々探しています。「かたさ・甘さ・カラメル之苦さ（塩梅）」が見事に自分の好みに合った、パーフェクトプリンを探し続けているのです。

ということで、ここでは過去印象に残っているプリンたちを紹介していこうと思います。

まずは気軽に買えるコンビニプリン。最近セブンイレブンのスイーツが新しくなったのをご存じでしょうか。その中でプリンも新しくなりました。「**こだわりたまごのカスタードプリン**」です。私はなめらかプリンよりかためプリンが好きなので、たまごを多く使っているものが好きです。まず問題の固さは、もうすこし固めが個人的には好きでしたが、表面のぷりっと感がちょうど良く、プリン心をそそります。あとカラメルの苦さ、プリンの甘さはちょうどよく、量も多いので満足です。

続いてミニストップの「**なつかしのたまごプリン**」。かためと商品名に書いてあるので即買いました。市販のプリンで初めて（か、かたい…！）と思った程、今までで一番固かったように思います。味は甘さ控えめで、素朴で美味しいです。カラメルが甘めで少ないのがちょっと残念でした。



あとは最近コンビニで見かけないのですが「**こだわり極プリン**」。ふわふわで柔らかめなのですが、甘さとカ

ラメルの苦さがとにかく好きでした。100円であの味は感動ものです。こしばらく見ないのでまた再販されることを祈ります。これは飲めるほどふわふわです。

次はお店で購入するプリン。

ケーキ屋さんへ行った際にプリンがあれば、つい買ってしまいます。その中で私の暫定一位のプリンはケーキ屋さん「**ドエル**」で買えるカスタードプリンです。量はこぶりですが、甘さがほどよくカラメルもいい苦さ。固さだけ、あとほんのちょっと固ければ最高というぐらいです。自宅の最寄り駅に近いので、たまに自分のご褒美に買います。北摂に何店舗もあるので近くに寄った際は是非。種類豊富なケーキも美味しいです。



そんな訳で、私はまだコレダ——！というプリンに出会っていません。これを読んで下さった方、おすすめのプリンがあったらぜひ私に教えて欲しいです。プリンで無くとも、美味しいスイーツがあれば、情報を頂けると幸いです。m(_ _)m

● 編集後記 ●

2014年11月から編集長を担当しておりましたが、9月号から新編集長に引き継ぐことになりました。振り返ってみれば、約3年が経っておりました。ほぼ毎月発行ができ、愛読いただける皆様に批評をいただきながら精進してまいりました。今後は、私も社内の一読者として貢献したいと思います。

末筆ではございますが、『遊文通信』をご愛読頂きましてありがとうございます。次号からどんな編集長がどんな誌面作りをするのか、楽しみにしてお待ち頂けたら幸いです。これからも『遊文通信』をよろしくお願ひ申し上げます。（ばっしー）